

## 学校現場に必要とされる教員や新しい大学院に関する意識調査 回答集計結果

### 【本学卒業生・修了生対象】

調査期間 2017年9月15日～10月27日

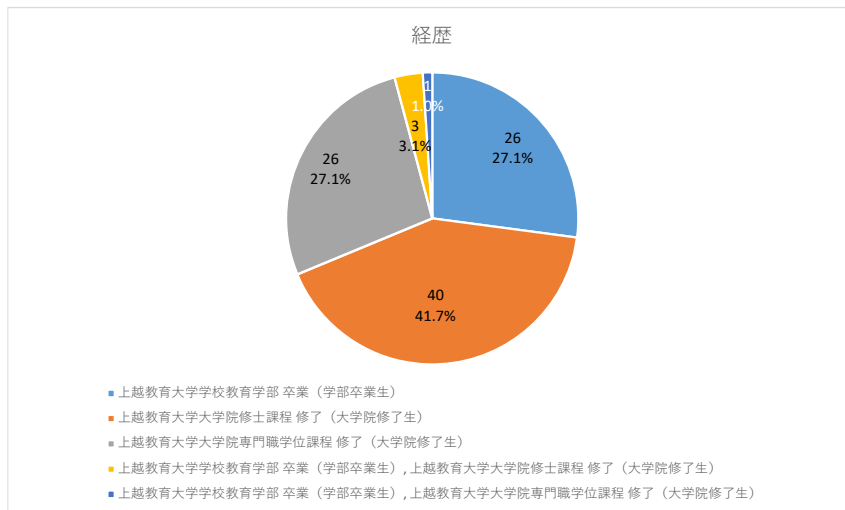
対象者数 961人

回答数 96件(回答率 10.0%)

設問数 29問+意見感想自由記述

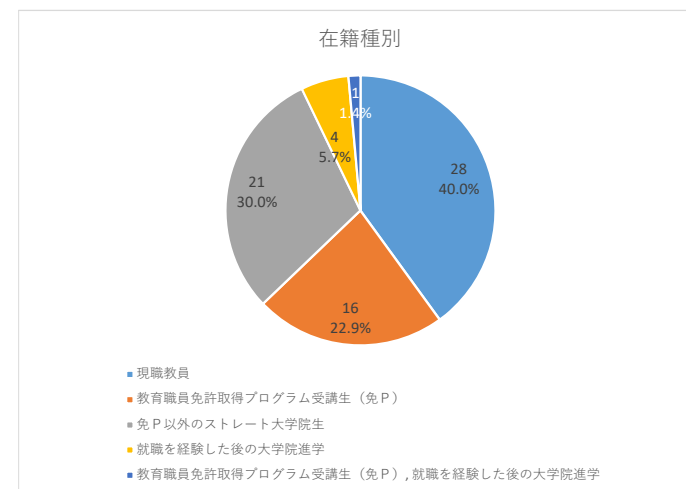
Q1 あなた自身のご経歴についておたずねします。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	件数	割合
上越教育大学学校教育学部 卒業(学部卒業生)	26	27.1%
上越教育大学大学院修士課程 修了(大学院修了生)	40	41.7%
上越教育大学大学院専門職学位課程 修了(大学院修了生)	26	27.1%
上越教育大学学校教育学部 卒業(学部卒業生)、上越教育大学大学院修士課程 修了(大学院修了生)	3	3.1%
上越教育大学学校教育学部 卒業(学部卒業生)、上越教育大学大学院専門職学位課程 修了(大学院修了生)	1	1.0%



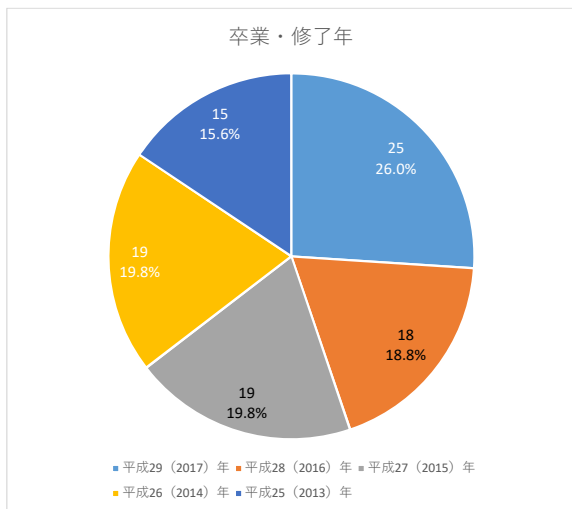
Q1で大学院修了生と答えた方におたずねします。あなたはどのような形で大学院に在籍していましたか。

選択肢	件数	割合
現職教員	28	29.2%
教育職員免許取得プログラム受講生(免P)	16	16.7%
免P以外のストレート大学院生	21	21.9%
就職を経験した後の大学院進学	4	4.2%
教育職員免許取得プログラム受講生(免P)、就職を経験した後の大学院進学	1	1.0%
その他	0	0.0%



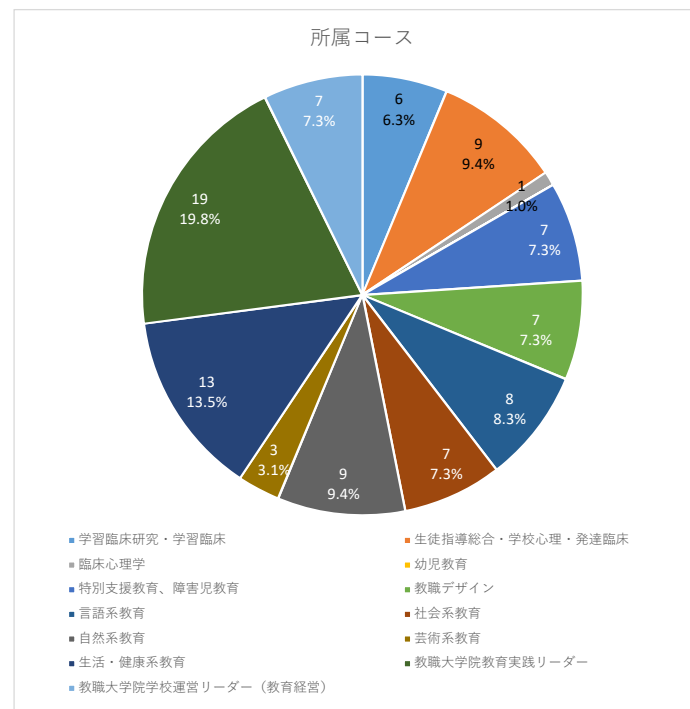
Q2 あなたの卒業・修了年についておたずねします。卒業・修了した3月時点の年を選んでください。（本学学部及び大学院の両方を卒業・修了した場合は、最後に修了した年を選んでください。）

選択肢	件数	割合
平成29(2017)年	25	26.0%
平成28(2016)年	18	18.8%
平成27(2015)年	19	19.8%
平成26(2014)年	19	19.8%
平成25(2013)年	15	15.6%



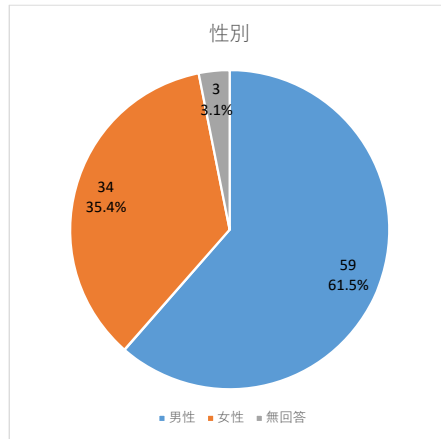
Q3 あなたが所属していたコースについておたずねします。（本学学部及び大学院の両方を卒業・修了した場合は、最後に修了したコースを選んでください。）

選択肢	件数	割合
学習臨床研究・学習臨床	6	6.3%
生徒指導総合・学校心理・発達臨床	9	9.4%
臨床心理学	1	1.0%
幼児教育	0	0.0%
特別支援教育、障害児教育	7	7.3%
教職デザイン	7	7.3%
言語系教育	8	8.3%
社会系教育	7	7.3%
自然系教育	9	9.4%
芸術系教育	3	3.1%
生活・健康系教育	13	13.5%
教職大学院教育実践リーダー	19	19.8%
教職大学院学校運営リーダー（教育経営）	7	7.3%



Q4 あなたの性別についておたずねします。(任意)

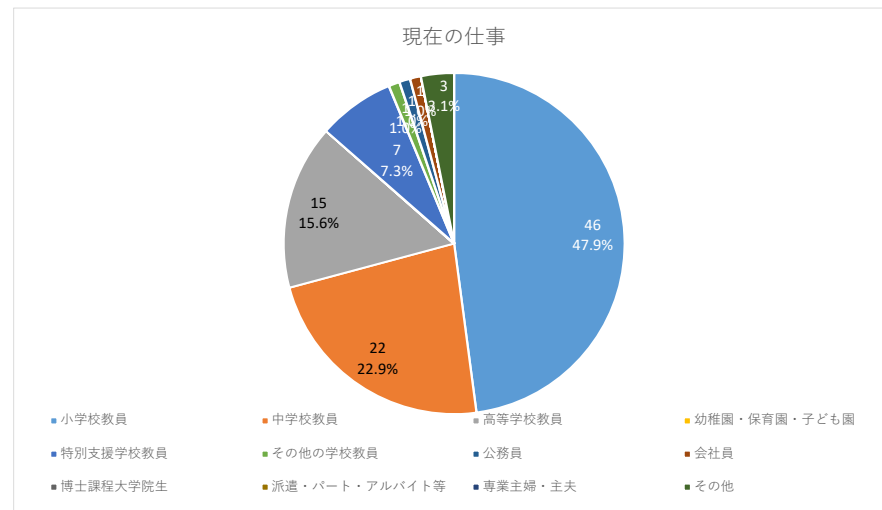
選択肢	件数	割合
男性	59	61.5%
女性	34	35.4%
無回答	3	3.1%



Q5 あなたは現在どのような仕事などに就いていますか(休暇中を含む)。

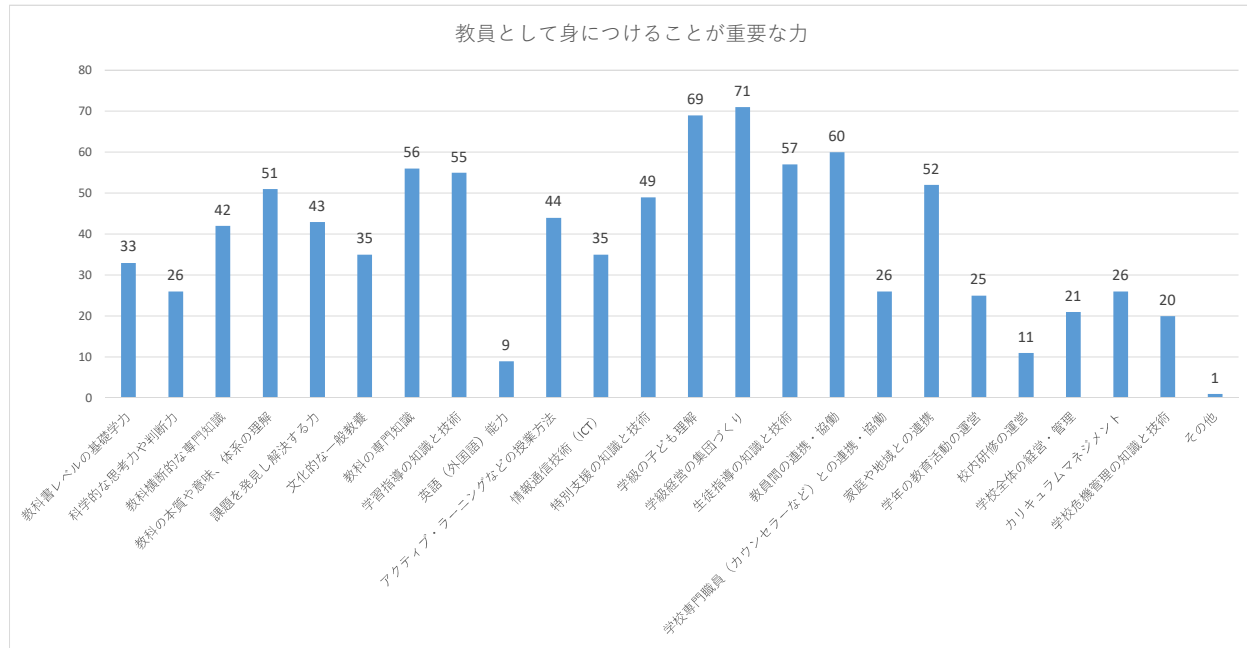
選択肢	件数	割合
小学校教員	46	47.9%
中学校教員	22	22.9%
高等学校教員	15	15.6%
幼稚園・保育園・子ども園	0	0.0%
特別支援学校教員	7	7.3%
その他の学校教員	1	1.0%
公務員	1	1.0%
会社員	1	1.0%
博士課程大学院生	0	0.0%
派遣・パート・アルバイト等	0	0.0%
専業主婦・主夫	0	0.0%
その他	3	3.1%

県総合教育センター教育相談部客員研究主事  
 教育委員会指導主事  
 児童養護施設児童指導員



Q6 あなたは、教員としてのどのような力を身につけることが重要だと思いますか。あてはまる項目をいくつでも選択してください。

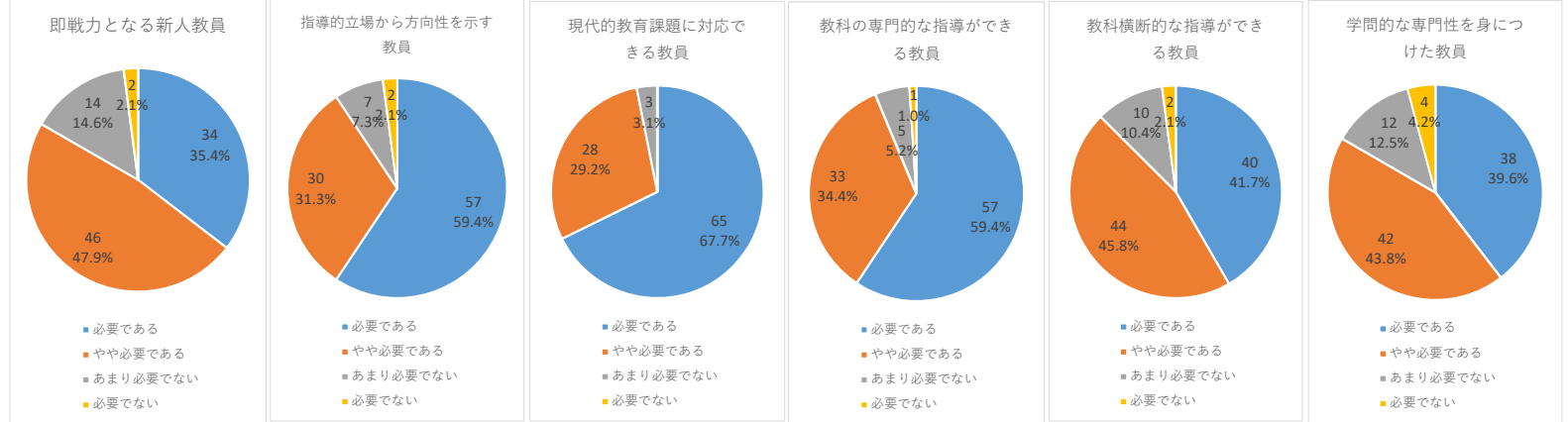
選択肢	件数	割合
教科書レベルの基礎学力	33	34.4%
科学的な思考力や判断力	26	27.1%
教科横断的な専門知識	42	43.8%
教科の本質や意味、体系の理解	51	53.1%
課題を発見し解決する力	43	44.8%
文化的な一般教養	35	36.5%
教科の専門知識	56	58.3%
学習指導の知識と技術	55	57.3%
英語(外国語)能力	9	9.4%
アクティブ・ラーニングなどの授業方法	44	45.8%
情報通信技術(ICT)	35	36.5%
特別支援の知識と技術	49	51.0%
学級の子ども理解	69	71.9%
学級経営の集団づくり	71	74.0%
生徒指導の知識と技術	57	59.4%
教員間の連携・協働	60	62.5%
学校専門職員(カウンセラーなど)との連携・協働	26	27.1%
家庭や地域との連携	52	54.2%
学年の教育活動の運営	25	26.0%
校内研修の運営	11	11.5%
学校全体の経営・管理	21	21.9%
カリキュラムマネジメント	26	27.1%
学校危機管理の知識と技術	20	20.8%
その他	1	1.0%



リーダーとして知るべき知識。7つの習慣等。

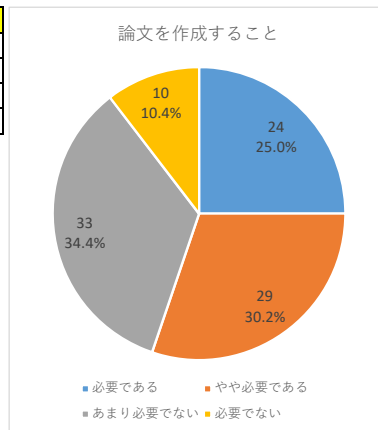
Q7 あなたは、どのような教員が学校現場に必要なだと思いますか。

選択肢	即戦力となる新人教員		指導的立場から方向性を示す教員		現代的教育課題に対応できる教員		教科の専門的な指導ができる教員		教科横断的な指導ができる教員		学問的な専門性を身につけた教員	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
必要である	34	35.4%	57	59.4%	65	67.7%	57	59.4%	40	41.7%	38	39.6%
やや必要である	46	47.9%	30	31.3%	28	29.2%	33	34.4%	44	45.8%	42	43.8%
あまり必要でない	14	14.6%	7	7.3%	3	3.1%	5	5.2%	10	10.4%	12	12.5%
必要でない	2	2.1%	2	2.1%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.1%	4	4.2%



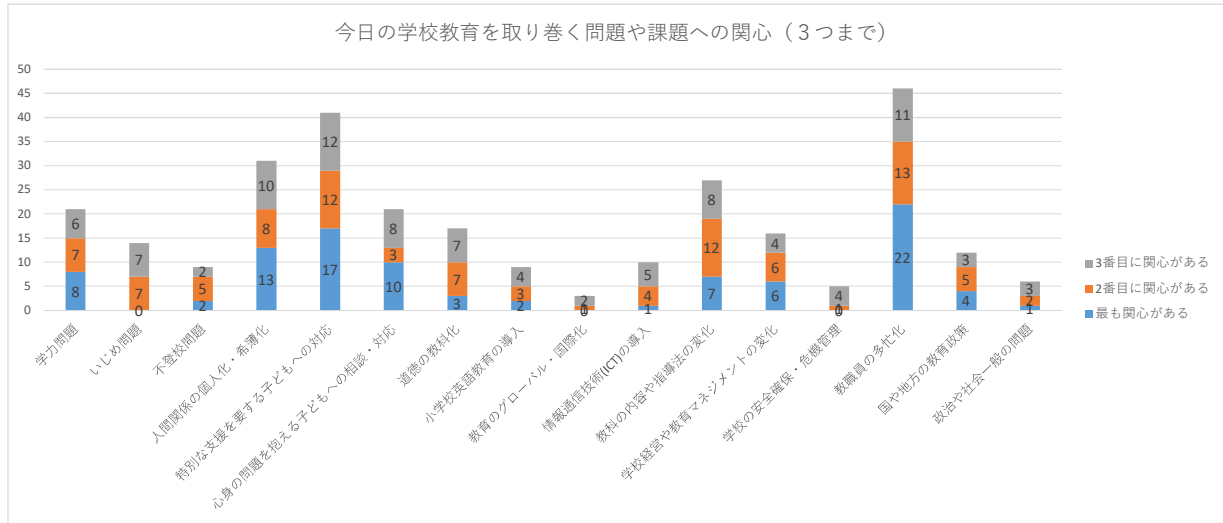
Q8 あなたは、教員としての力量を高めるために、自分自身の課題を研究し、論文を作成することが必要だと思いますか。

選択肢	件数	割合
必要である	24	25.0%
やや必要である	29	30.2%
あまり必要でない	33	34.4%
必要でない	10	10.4%



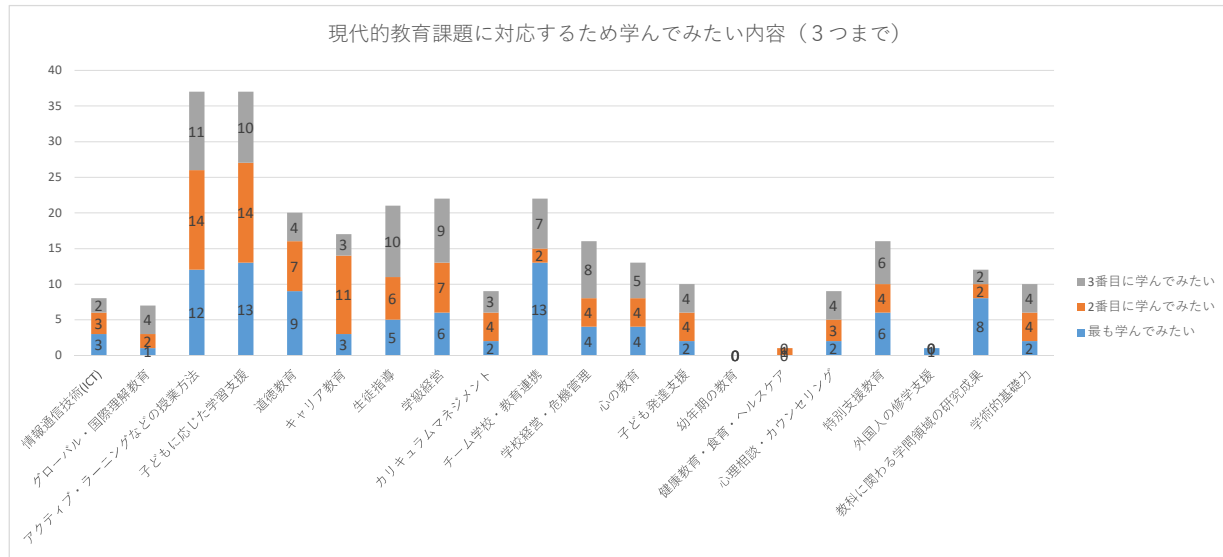
Q9 あなたは、今日の学校教育を取り巻く次の問題や課題に関心がありますか。

選択肢	件数	割合
学力問題	21	21.9%
いじめ問題	14	14.6%
不登校問題	9	9.4%
人間関係の個人化・希薄化	31	32.3%
特別な支援を要する子どもへの対応	41	42.7%
心身の問題を抱える子どもへの相談・対応	21	21.9%
道徳の教科化	17	17.7%
小学校英語教育の導入	9	9.4%
教育のグローバル・国際化	3	3.1%
情報通信技術(ICT)の導入	10	10.4%
教科の内容や指導法の変化	27	28.1%
学校経営や教育マネジメントの変化	16	16.7%
学校の安全確保・危機管理	5	5.2%
教職員の多忙化	46	47.9%
国や地方の教育政策	12	12.5%
政治や社会一般の問題	6	6.3%



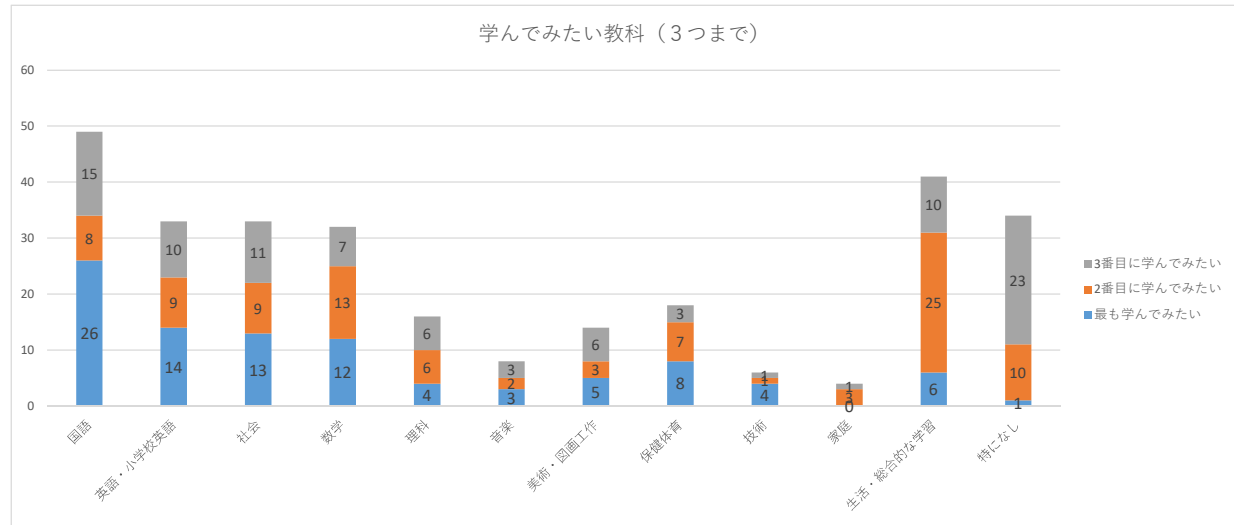
Q10 あなたが、現代的教育課題に対応するために、学んでみたいと思うものはどれですか。

選択肢	件数	割合
情報通信技術(ICT)	8	8.3%
グローバル・国際理解教育	7	7.3%
アクティブ・ラーニングなどの授業方法	37	38.5%
子どもに応じた学習支援	37	38.5%
道徳教育	20	20.8%
キャリア教育	17	17.7%
生徒指導	21	21.9%
学級経営	22	22.9%
カリキュラムマネジメント	9	9.4%
チーム学校・教育連携	22	22.9%
学校経営・危機管理	16	16.7%
心の教育	13	13.5%
子ども発達支援	10	10.4%
幼年期の教育	0	0.0%
健康教育・食育・ヘルスケア	1	1.0%
心理相談・カウンセリング	9	9.4%
特別支援教育	16	16.7%
外国人の修学支援	1	1.0%
教科に関わる学問領域の研究成果	12	12.5%
学術的基礎力	10	10.4%



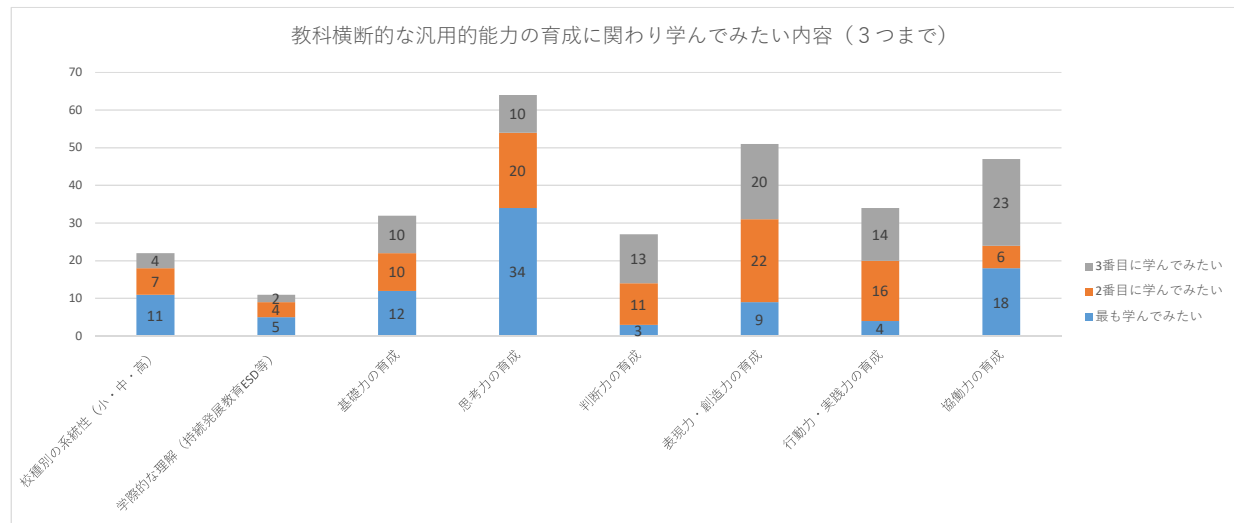
Q11 あなたが、教科に関する内容のうち、学んでみたいと思うものはどれですか。

選択肢	件数	割合
国語	49	51.0%
英語・小学校英語	33	34.4%
社会	33	34.4%
数学	32	33.3%
理科	16	16.7%
音楽	8	8.3%
美術・図画工作	14	14.6%
保健体育	18	18.8%
技術	6	6.3%
家庭	4	4.2%
生活・総合的な学習	41	42.7%
特になし	34	35.4%



Q12 あなたが、教科横断的な汎用的能力の育成に関わる内容のうち、学んでみたいと思うものはどれですか。

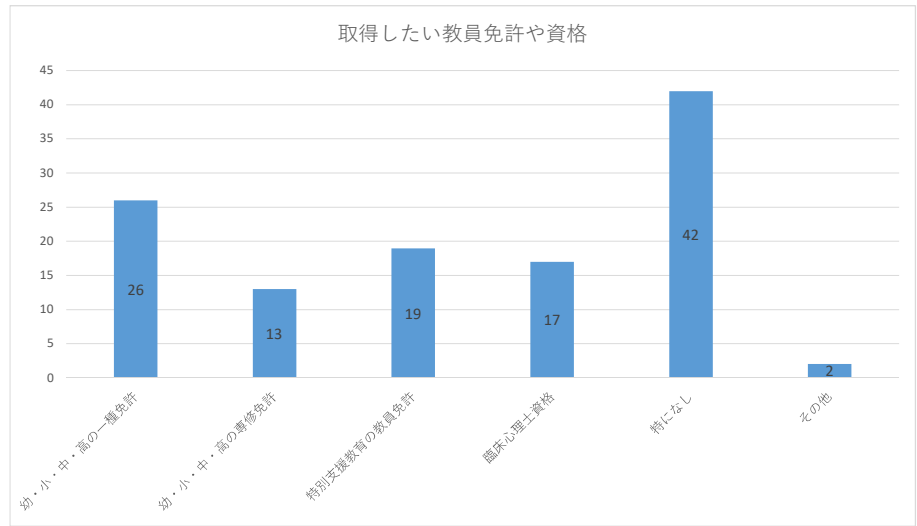
選択肢	件数	割合
校種別の系統性（小・中・高）	22	22.9%
学際的な理解（持続発展教育ESD等）	11	11.5%
基礎力の育成	32	33.3%
思考力の育成	64	66.7%
判断力の育成	27	28.1%
表現力・創造力の育成	51	53.1%
行動力・実践力の育成	34	35.4%
協働力の育成	47	49.0%



Q13 あなたは、現在取得している教員免許から取り増したい免許や資格はありますか。あてはまる項目をいくつでも選択してください。

選択肢	件数	割合
幼・小・中・高の一種免許	26	27.1%
幼・小・中・高の専修免許	13	13.5%
特別支援教育の教員免許	19	19.8%
臨床心理士資格	17	17.7%
特になし	42	43.8%
その他	2	2.1%

特別支援教育士  
司書教諭

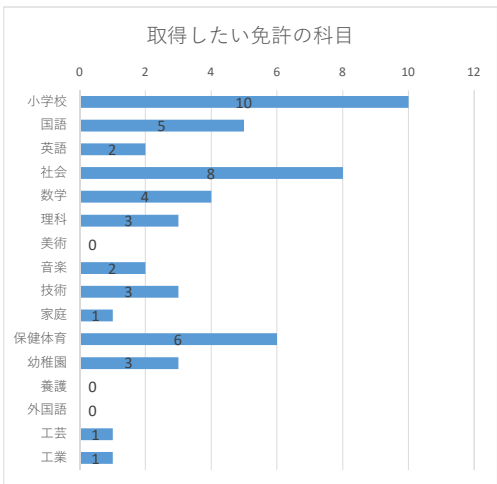


Q13で「幼・小・中・高の一種免許」「幼・小・中・高の専修免許」と答えた方は校種と教科を入力してください。

免許校種・科目	件数	免許校種・科目	件数
幼稚園	3	高校 公民	2
小学校	10	高校 音楽	1
中学校 理科	3	(不明) 数学	1
中学校 保健体育	3	(不明) 家庭	1
中学校 数学	2	(不明) 英語	2
中学校 社会	4		
中学校 国語	3		
中学校 技術	2		
中学校 音楽	1		
高校 保健体育	3		
高校 地理歴史	2		
高校 数学	1		
高校 情報	1		
高校 国語	2		
高校 工芸	1		
高校 工業	1		

※教科別集計結果

免許校種・科目	件数
小学校	10
国語	5
英語	2
社会	8
数学	4
理科	3
音楽	2
技術	3
家庭	1
保健体育	6
幼稚園	3
養護	0
外国語	0
工業	1
工芸	1

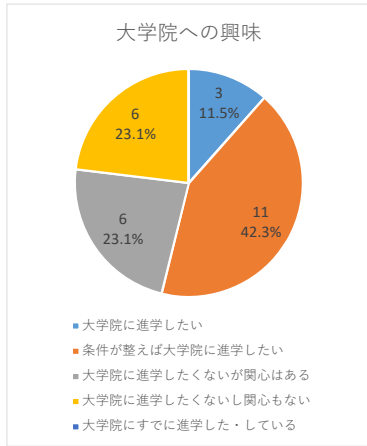




Q14 あなたは、教職の専門的な教育・研修を受けるために、大学院に進学したいと思いますか。

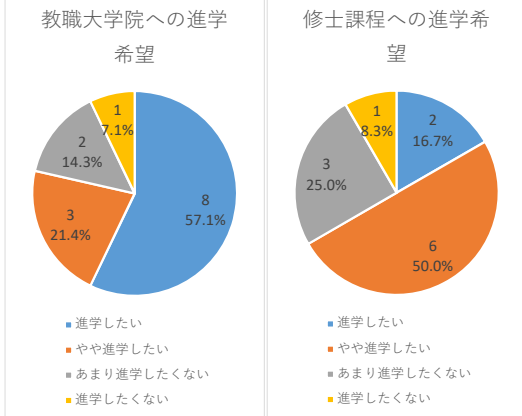
選択肢	件数	割合
大学院に進学したい	3	11.5%
条件が整えば大学院に進学したい	11	42.3%
大学院に進学したくないが関心はある	6	23.1%
大学院に進学したくないし関心もない	6	23.1%
大学院にすでに進学した・している	0	0.0%

※大学院修了生については、Q14～23は回答対象外。



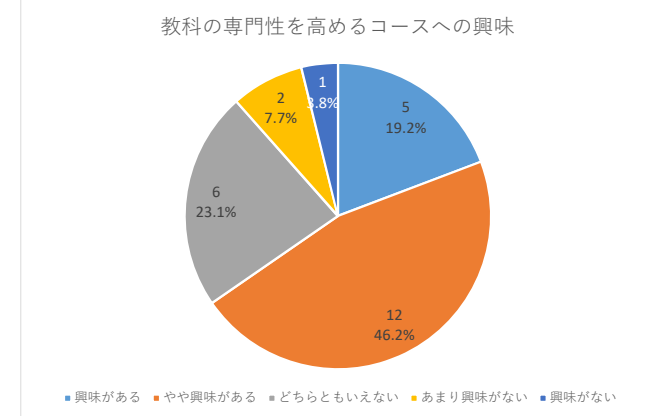
Q14で「大学院に進学したい」、「条件が整えば大学院に進学したい」と答えた方におたずねします。上越教育大学大学院が開設している専門職学位課程(教職大学院)及び修士課程のどちらの課程に進学したいと思いますか。

選択肢	専門職学位課程(教職大学院)		修士課程	
	件数	割合	件数	割合
進学したい	8	57.1%	2	16.7%
やや進学したい	3	21.4%	6	50.0%
あまり進学したくない	2	14.3%	3	25.0%
進学したくない	1	7.1%	1	8.3%



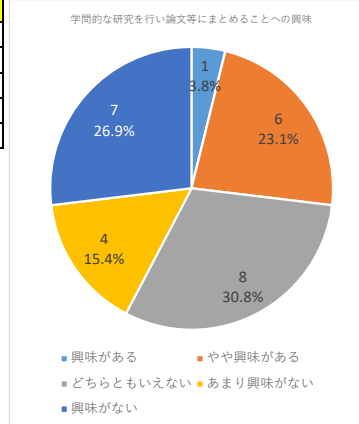
Q15 あなたは、教職大学院または修士課程で教科の専門性を高めるコースに興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	5	19.2%
やや興味がある	12	46.2%
どちらともいえない	6	23.1%
あまり興味がない	2	7.7%
興味がない	1	3.8%



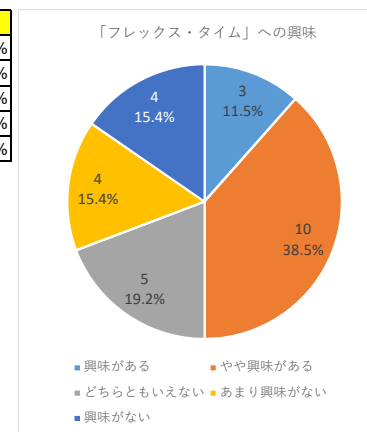
Q16 あなたは、教職大学院または修士課程で学問的な研究を行い、論文等の形にまとめることに興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	1	3.8%
やや興味がある	6	23.1%
どちらともいえない	8	30.8%
あまり興味がない	4	15.4%
興味がない	7	26.9%



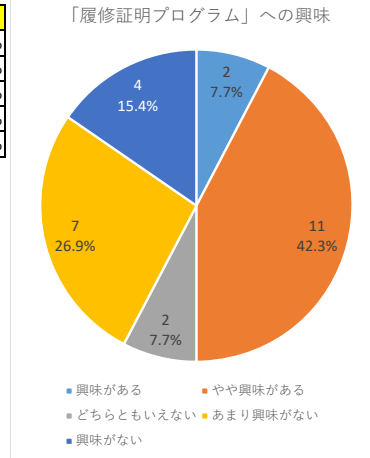
Q17 あなたは、教職大学院で休日・夜間・休暇期間にも授業を履修することができる「フレックス・タイム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	3	11.5%
やや興味がある	10	38.5%
どちらともいえない	5	19.2%
あまり興味がない	4	15.4%
興味がない	4	15.4%



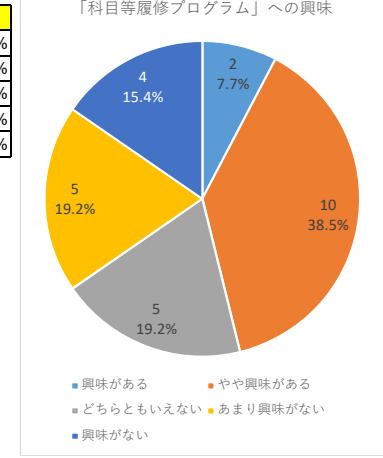
Q18 あなたは、教職大学院の入学前に夏休みや週末の集中講義、遠隔授業などにより授業を履修し、入学後にその単位を認定して1年間で修了できる「履修証明プログラム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	2	7.7%
やや興味がある	11	42.3%
どちらともいえない	2	7.7%
あまり興味がない	7	26.9%
興味がない	4	15.4%



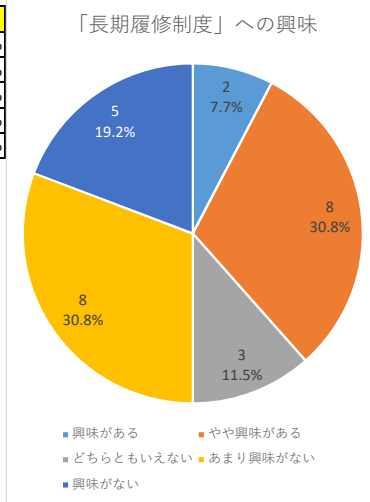
Q19 あなたは、教職大学院の入学後に夏休みや週末の集中講義、遠隔授業などにより授業を履修し、単位を積み上げ認定して1年間で修了できる「科目等履修プログラム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	2	7.7%
やや興味がある	10	38.5%
どちらともいえない	5	19.2%
あまり興味がない	5	19.2%
興味がない	4	15.4%



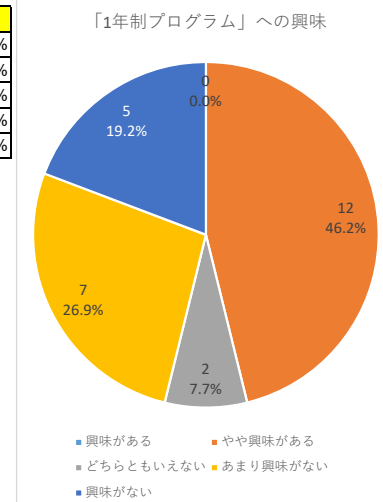
Q20 あなたは、教職大学院で6年間かけて夏休みや週末の集中講義、遠隔授業などにより履修し、実習は勤務校でおこなって修了する「長期履修制度」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	2	7.7%
やや興味がある	8	30.8%
どちらともいえない	3	11.5%
あまり興味がない	8	30.8%
興味がない	5	19.2%



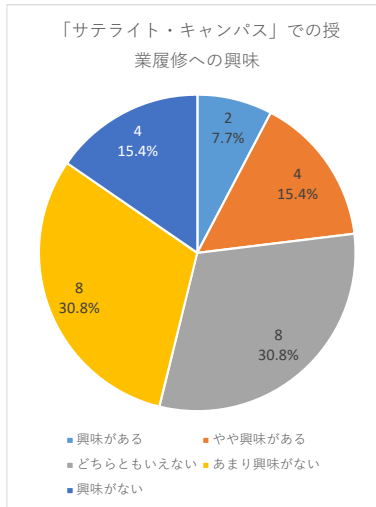
Q21 あなたは、教職大学院で教育経営のマネジメントを研究し、1年間で指導的な役割を果たす教員を養成する「1年制プログラム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	0	0.0%
やや興味がある	12	46.2%
どちらともいえない	2	7.7%
あまり興味がない	7	26.9%
興味がない	5	19.2%



Q22 あなたは、東京や新潟市などの大都市に設置する「サテライト・キャンパス」で授業を履修することに興味がありますか。

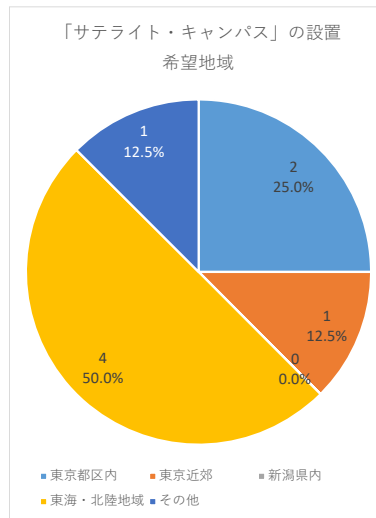
選択肢	件数	割合
興味がある	2	7.7%
やや興味がある	4	15.4%
どちらともいえない	8	30.8%
あまり興味がない	8	30.8%
興味がない	4	15.4%



Q22で「興味がある」、「やや興味がある」と答えた方におたずねします。「サテライト・キャンパス」をどの地域に設置してほしいと思いますか(SQを含む)

選択肢	件数	割合
東京都区内	2	25.0%
東京近郊	1	12.5%
新潟県内	0	0.0%
東海・北陸地域	4	50.0%
その他	1	12.5%

長野県上小地域



※SQ:「東京近郊」、「新潟県内」、「東海北陸地域」と答えた方は、具体的な市の名前も入力してください。

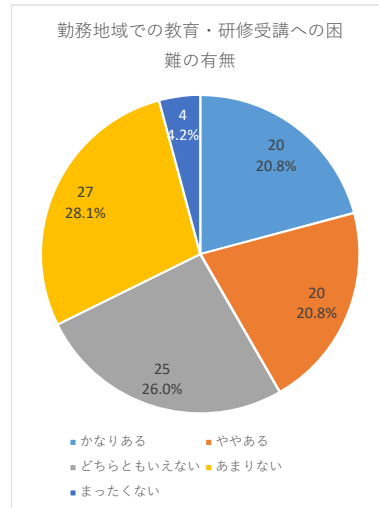
金沢市(3)  
富山市  
長野市  
秩父市

Q23 あなたは、大学院に入学した際、どのような授業を受けてみたいと思いますか。また、どのようなテーマで研究したいと思いますか。以下にご自由にお書きください。

古典文学、教育社会学等
道徳教育
外国語の専門技術
特別支援教育に関する専門的な授業
児童生徒理解について
学校経営の専門性を高める授業
先の見えない現代社会における、学校の位置付け、学校のできること
教師としての専門性を高めることができる授業
子どもが夢中になる授業の作り方、時間がかからず準備できる教材作り
社会科
グレーゾーンの児童へのアプローチについて
位相幾何学
近代文学の精読

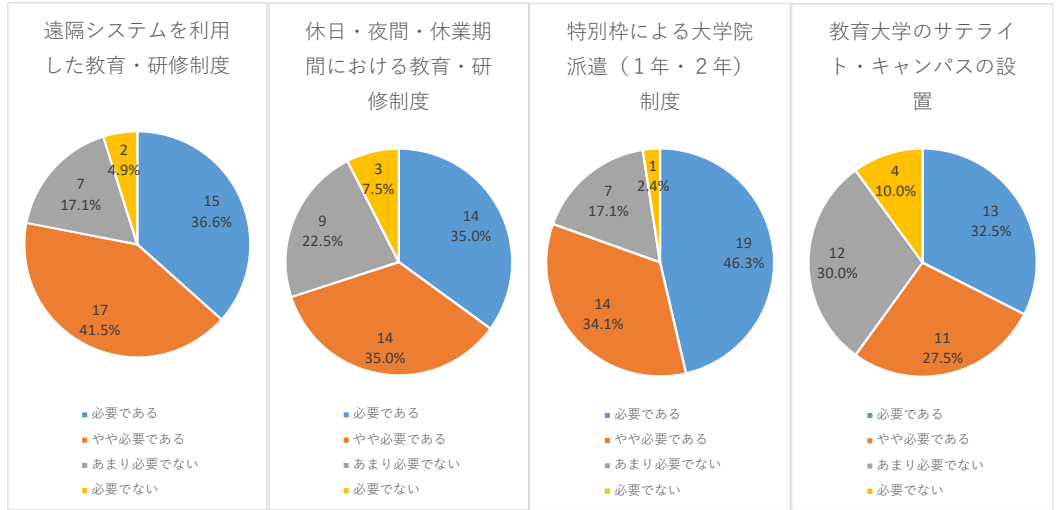
Q24 あなたは、ご自身が勤める地域において、教職に関する専門的な教育や研修を受けるための困難や不利があると思いますか。

選択肢	件数	割合
かなりある	20	20.8%
ややある	20	20.8%
どちらともいえない	25	26.0%
あまりない	27	28.1%
まったくない	4	4.2%



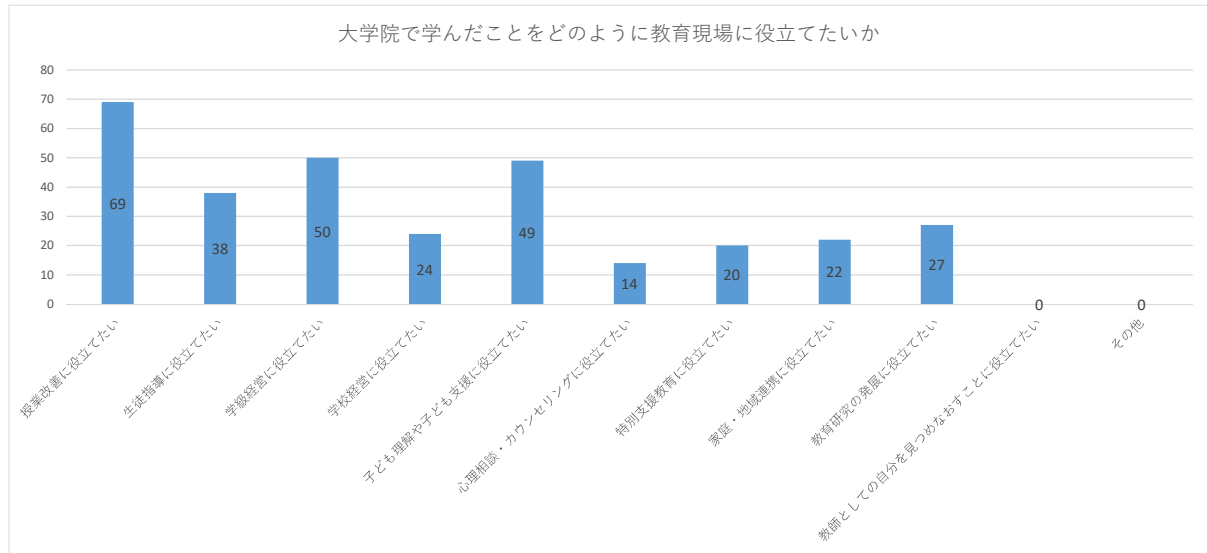
Q24で「かなりある」「ややある」と答えた方におたずねします。困難や不利を解消するために、どのような制度があればよいと考えますか。

選択肢	遠隔システムを利用した教育・研修制度		休日・夜間・休業期間における教育・研修制度		特別枠による大学院派遣（1年・2年）制度		教育大学のサテライト・キャンパスの設置	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
必要である	15	36.6%	14	35.0%	19	46.3%	13	32.5%
やや必要である	17	41.5%	14	35.0%	14	34.1%	11	27.5%
あまり必要でない	7	17.1%	9	22.5%	7	17.1%	12	30.0%
必要でない	2	4.9%	3	7.5%	1	2.4%	4	10.0%



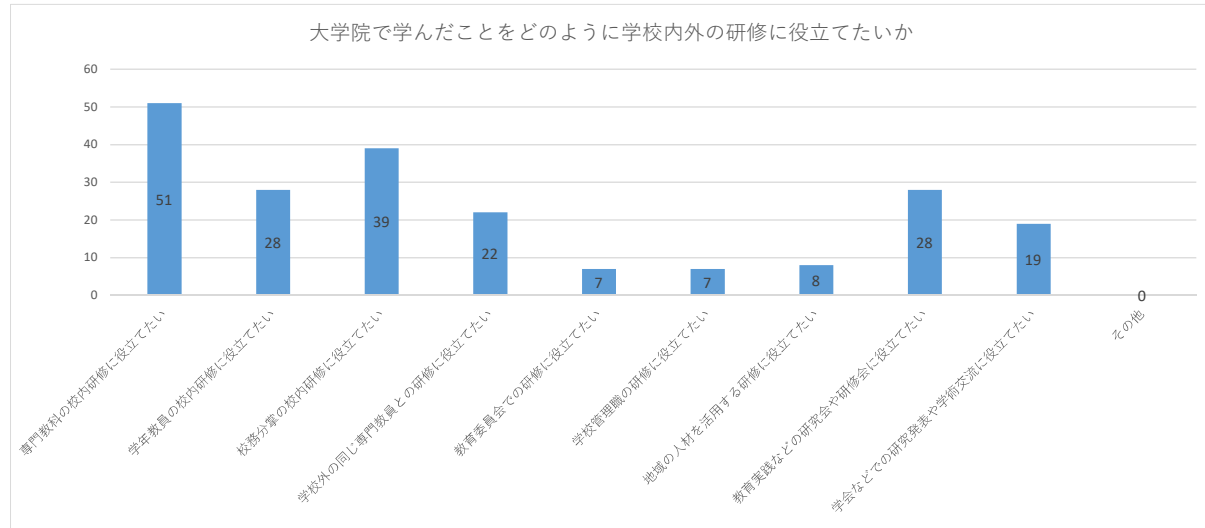
Q25 あなたは、大学院で学んだことをどのように教育現場に役立てたいと思いますか。あてはまる項目をいくつでも選択してください。

選択肢	件数	割合
授業改善に役立てたい	69	71.9%
生徒指導に役立てたい	38	39.6%
学級経営に役立てたい	50	52.1%
学校経営に役立てたい	24	25.0%
子ども理解や子ども支援に役立てたい	49	51.0%
心理相談・カウンセリングに役立てたい	14	14.6%
特別支援教育に役立てたい	20	20.8%
家庭・地域連携に役立てたい	22	22.9%
教育研究の発展に役立てたい	27	28.1%
教師としての自分を見つめなおすことに役立てたい	0	0.0%
その他	0	0.0%



Q26 あなたは、大学院で学んだことをどのように学校内外の研修に役立てたいと思いますか。あてはまる項目をいくつでも選択してください。

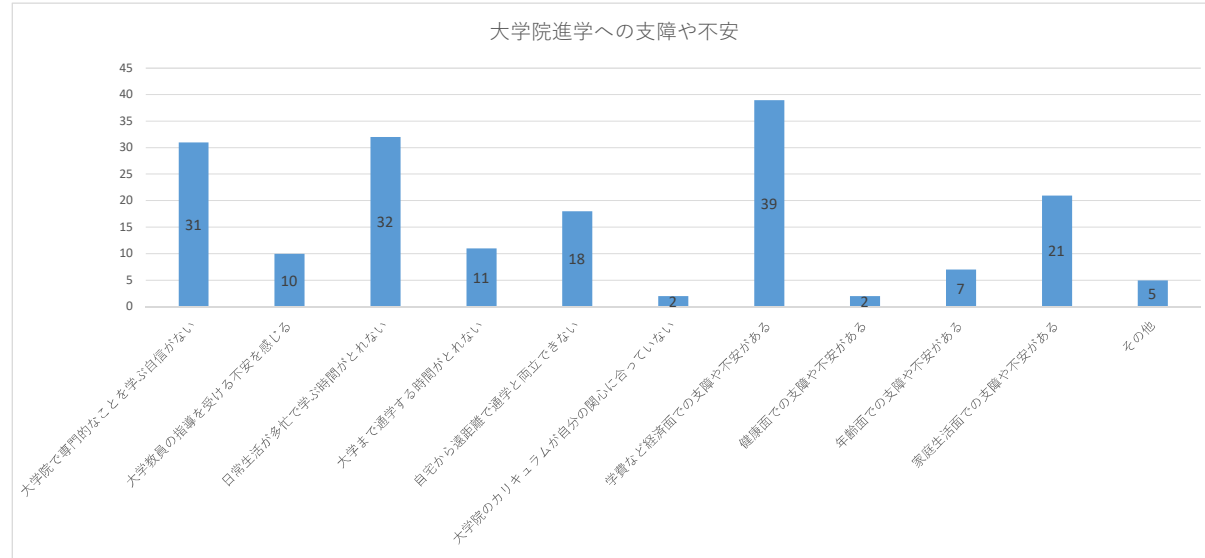
選択肢	件数	割合
専門教科の校内研修に役立てたい	51	53.1%
学年教員の校内研修に役立てたい	28	29.2%
校務分掌の校内研修に役立てたい	39	40.6%
学校外の同じ専門教員との研修に役立てたい	22	22.9%
教育委員会での研修に役立てたい	7	7.3%
学校管理職の研修に役立てたい	7	7.3%
地域の人材を活用する研修に役立てたい	8	8.3%
教育実践などの研究会や研修会に役立てたい	28	29.2%
学会などでの研究発表や学術交流に役立てたい	19	19.8%
その他	0	0.0%



Q27 あなたは、大学院に進学することにどのような支障や不安を感じますか（感じましたか）。あてはまる項目をいくつでも選択してください。

選択肢	件数	割合
大学院で専門的なことを学ぶ自信がない	31	32.3%
大学教員の指導を受ける不安を感じる	10	10.4%
日常生活が多忙で学ぶ時間がとれない	32	33.3%
大学まで通学する時間がとれない	11	11.5%
自宅から遠距離で通学と両立できない	18	18.8%
大学院のカリキュラムが自分の関心に合っていない	2	2.1%
学費など経済面での支障や不安がある	39	40.6%
健康面での支障や不安がある	2	2.1%
年齢面での支障や不安がある	7	7.3%
家庭生活面での支障や不安がある	21	21.9%
その他	5	5.2%

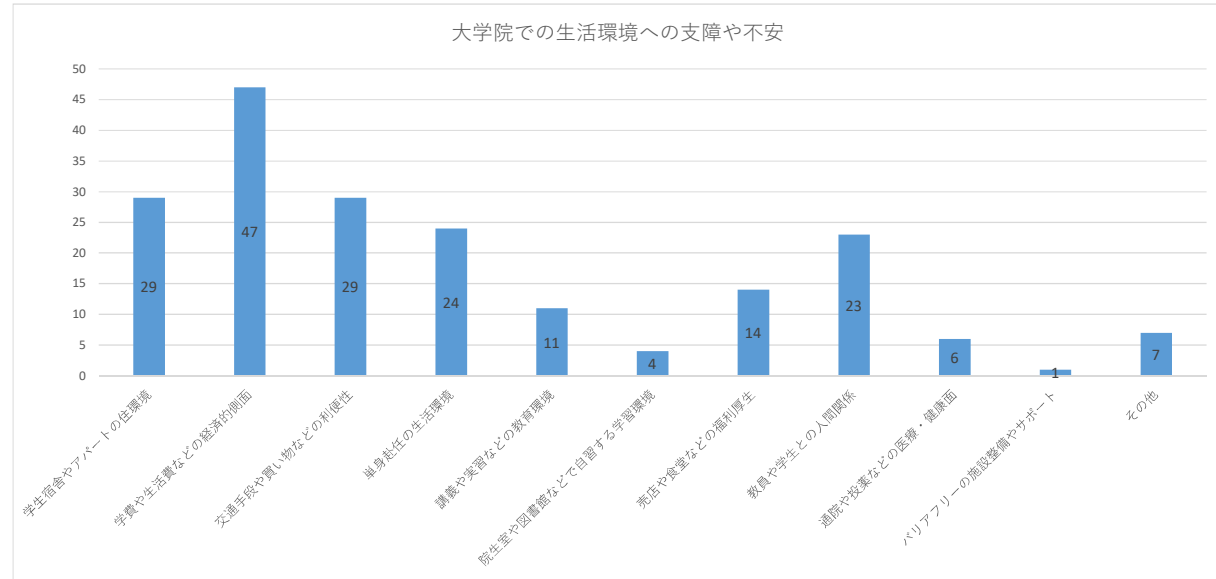
特になし(2)  
雪のある生活  
特に不安はなかった  
あてはまる項目はない



Q28 あなたは、大学院での生活環境にどのような支障や不安を感じますか（感じましたか）。いくつでも選択してください。

選択肢	件数	割合
学生宿舎やアパートの住環境	29	30.2%
学費や生活費などの経済的側面	47	49.0%
交通手段や買い物などの利便性	29	30.2%
単身赴任の生活環境	24	25.0%
講義や実習などの教育環境	11	11.5%
院生室や図書館などで自習する学習環境	4	4.2%
売店や食堂などの福利厚生	14	14.6%
教員や学生との人間関係	23	24.0%
通院や投薬などの医療・健康面	6	6.3%
バリアフリーの施設整備やサポート	1	1.0%
その他	7	7.3%

特になし(4)  
 大学院卒業後の職場でまた今までやってきたように働けるか  
 雪のある生活、キャンパス内や宿舎にゴミが放置されている事、マナー  
 気候



Q29 そのほか、大学院での教育や生活などについて、ご意見・ご要望などがありましたら、以下にご自由にお書きください。

※省略